

地球で共存する動物と植物

植物

二酸化炭素を吸収し
酸素を排出する



動物

酸素を吸収し
二酸化炭素を排出する

森に行くと気分がいいのは酸素が多いからです！



海で誕生した命は微生物⇒魚介類・藻類⇒植物⇒動物、
人類の誕生へと進化を遂げた。

私たちの住む星，地球が誕生したのは今から約46億年前のことでした。そして最初の生命が海に誕生したのが約38億年前。

シアノバクテリアが酸素を作るようになると，酸素を利用した呼吸をする微生物も誕生し，生命の進化は海の中で進みました。陸上で生物が生活するには，紫外線が大きな障壁となっていました。大気中にオゾン層ができ，紫外線が遮断されると植物に続いて節足動物などの無脊椎動物が上陸し，動植物は急速な進化を遂げていきました。

やがて恐竜が約2億3000万年前，登場しました。恐竜は様々な進化をしていき，やがて陸・海・空すべてを支配するようになりました。鳥やほ乳類の先祖はこの恐竜の亜目から分化しました。ところが6500万年前，恐竜は忽然と地球上から姿を消してしまいました。

恐竜時代の後，生き残った小型のほ乳類や鳥類，爬虫類などが繁栄しました。人類の先祖である霊長類が出現したのは，今から約6500万年前，恐竜が絶滅する少し前と推測されています。そして数百万年前，人類と類人猿とがわかれ，人類は他の動物とは異なった，独自の進化を遂げはじめました。2002年7月に，600～700万年前のアフリカ中部のチャドでヒトの頭蓋骨が発掘され，これが人類最古のものとしてされています。